

欧米、中東、アジア、そして南極へ—— 世界を描いた銅版画家 待望の回顧展



ヨルク・シュマイサー

終わりのなき旅

Jörg Schmeisser Retrospective
Neverending Journeys

△ 「故宮への入口・北京」 1981 年 個人蔵

2018.9.15.- 11.18. 町田市立国際版画美術館



B 「ティクセ」 1985 年 個人蔵

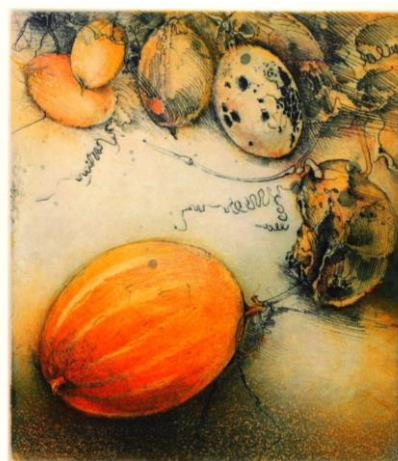
ヨルク・シュマイサー(1942-2012)は
世界を舞台に活躍したアーティストです。

ドイツに生まれ、日本に学び、
オーストラリアを拠点に制作を行いました。

「旅する版画家」と称されるように
世界各地を訪ね、その経験を版に刻みました。

その足跡は欧米、中東、アジア、
そしてついには南極にまで及んでいます。

けれども、シュマイサーは
ただ旅先の風景を描いた画家ではありません。
大胆な造形に目を奪われるオーストラリアの岩山
漂流し崩壊しダイナミックに姿をかえる南極の氷山
季節がめぐるたびに芽吹く新芽
アトリエ前の海岸に流れ着いた貝殻
イメージの趣くまま姿を変えていく女性たち。



C 「からすり」 1989 年 町田市立国際版画美術館蔵



D



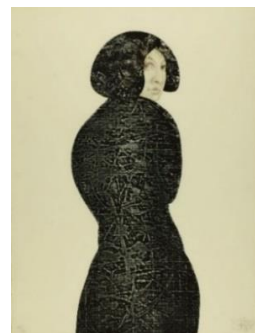
E



F



G



H

「変化Ⅱ」 1984 年 町田市立国際版画美術館蔵

マクロからミクロまで、シュマイサーが描くすべての底流をなしていたテーマが「変化」です。
自分をとりまく世界に起こる変化を画面に捉えることに、彼は生涯をかけたのです。

日本とも深い縁のあったシュマイサー。2012 年の逝去後、初の本格的な回顧展となる本展では、
初期から晩年までの代表作を網羅した約 180 点により、その軌跡をたどります。



Ⅱ 「モーション基地」 2003 年 個人蔵

展覧会のみどころ

1. 日本から南極まで、壮大なスケールで世界をめぐる旅の数々
2. 逝去後初の本格的回顧展
3. 世界を舞台に活躍した銅版画家の 50 年におよぶ制作の全貌を紹介

開催概要

ヨルク・シュマイサー 終わりのなき旅 Jörg Schmeisser Retrospective: *Neverending Journeys*

会 期 2018 年 9 月 15 日(土)～11 月 18 日(日)

休 館 日 月曜休館、ただし 9/17、24、10/8 開館、9/18、25、10/9 休館

開館時間 平日 10:00～17:00(入場は 16:30 まで)

土日祝 10:00～17:30(入場は 17:00 まで)

会 場 町田市立国際版画美術館 企画展示室 1、2

観 覧 料 一般＝800(600)円、大・高生、65 歳以上＝400(300)円、中学生以下は無料

*()内は 20 名以上の団体料金。

*身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と
付き添いの方 1 名は半額です。

*9 月 15 日(展覧会初日)と 11 月 3 日(文化の日)は入場無料です。

主 催 町田市立国際版画美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

助 成 オーストラリア政府、豪日交流基金、オーストラリア now スポンサー

協 力 日本航空、国立極地研究所

協 賛 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

巡 回 先 奈良県立美術館 2019 年 4 月 13 日(土)～6 月 2 日(日) (予定)

展覧会の構成

シュマイサーの生涯にわたる主題、それが「変化」です。

旅の風景、変容する人物を描く連作、流麗な文字が躍る日記シリーズ — さまざまな作品すべてが この主題に連なり、ひとつの大きな流れとなつてシュマイサーの芸術をつらぬいています。

本展では「変化」をキーワードに、初期から晩年までの展開を5つの視点から見て行きます。

I. 変化へのまなざし / Beginnings: Seeds of Change

シュマイサーは1962年にハンプルク造形大学に入学し、パウル・ヴンダーリッヒのもとで版画を学びました。「変化」への強い関心は、この頃の作品にもすでに見て取ることができます。ひとりの女性が年令とともに変わっていく姿を描く連作『彼女は老いていく』など初期の代表作に「変化」の萌芽を見ていきます。



Ⅱ 「炎」 1967年
個人蔵



Ⅲ 『彼女は老いていく』 1967年 個人蔵

II. 旅 / Journeys: Changes of Perspective

「旅の画家」と呼ばれるシュマイサー。彼にとって旅とは空間を移動することであり、その場所に積み重なった時間を遡ることであり、その地の風景やできごと、出会った人々によって自分の中にわきあがったものを体験することでした。それは perspective が意味する「経験に影響されるものの見方」の変化ともいえるでしょう。日本、オーストラリア、ラダックはじめ、世界各地を訪ね制作された作品を通じて、彼の「旅」を追体験します。



Ⅳ 『キャセイ』より「月」 1976年
個人蔵



Ⅴ 「日記とエアーズ・ロック」 1979年
個人蔵

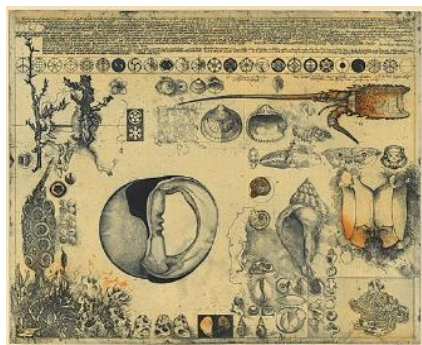
III. 日記と「小さなもの」 / Diaries: The Record of Change

画面に流麗な文字でテキストを書き込んだ「日記」のシリーズは、シュマイサー独特の表現として高い評価をうけています。

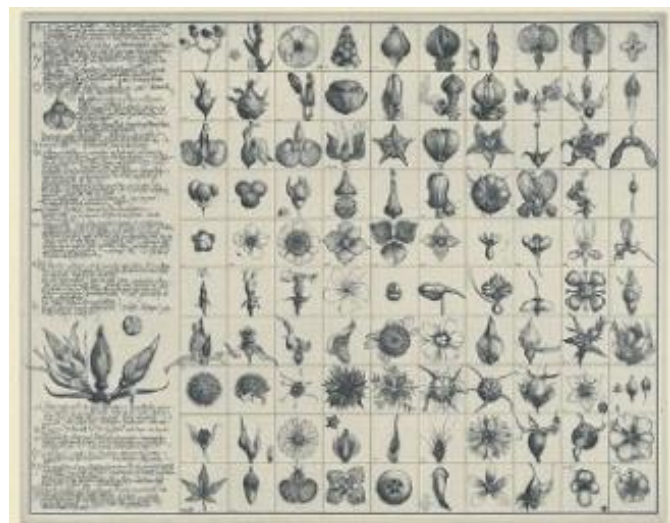
この章では「日記」の中から、貝や植物など彼の身近にあって、繰り返し描かれたものに関わる作品を取上げ、日常において記録し続けた変化に目を向けます。



N 「横たわる貝」 1997 年
町田市立国際版画美術館



O 「日記と貝殻」 1978 年
個人蔵



P 「日記と百の蕾」 1984 年 個人蔵

IV. 連作—変化を追う / Change and Metamorphoses

「変化」の主題と版画技法の特質を意識的に結びつけ、表現の可能性を探った作品が、その名も『変化 / Zustände / Changes』と題された 3 組の連作です。

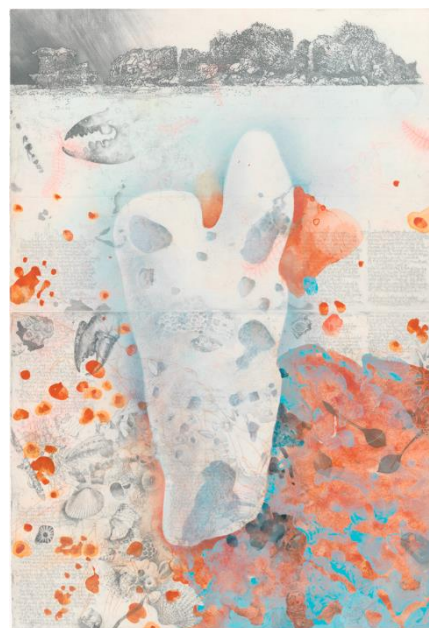
「芸術とは自分の思考を展開させていくことであり、思い通りにそれを表現できる技術を身につけなくてはならない」とシュマイサーは言います。多彩かつ高度な手法で、自らのイメージを具現化してみせた代表作『変化』シリーズ 3 組を初めて一堂に並べる、見応えある展示です。

V. 変化を創る / Creating Change

ドイツの正統に連なる版画制作を行うと評されることが多かったシュマイサー。しかし実際には、優れた技術を持つ者だけに許される自由奔放な制作を試みていました。とりわけ 1990 年代半ば以降は、その傾向を明確に示す作品を発表していきます。

小さな原版数枚を画面に配置する手法で、旅の印象を多面的にとらえた『冬の旅』シリーズ、版画にドローイングや手彩色を加えることで、刻々と変化する風景をとらえた『イルパラ海岸のかげら』連作など、ひとつとして同じ仕上がりのない “unique states” の作品群。南極の氷山が崩壊していく段階を、一枚の版の複数のステートで追った『Big Changes』連作は、版の展開に注目した手法の集大成といえます。

変化を追求してきたシュマイサーが至った、自分自身の手で変化を創り出そうとする挑戦をたどります。



Q 「イルパラ海岸で拾ったかけら」 2011 年 個人蔵

レセプションのご案内

下記のとおりレセプションを開催いたします。ご多用とは存じますが、ぜひご出席賜りますようご案内申し上げます。報道関係の皆様のご出席をお待ちしております。

日時:9月16日(日)15:00~16:30 会場:町田市立国際版画美術館 1階講堂

画像データ・プレゼント用招待券について

展覧会広報用に本プレスリリース掲載の画像データ、およびプレゼント用招待券を用意しております。ご利用いただける際は、下記の問い合わせ先の広報担当までご連絡ください。

※ご希望の画像記号をお知らせください。 ※画像は広報利用に限って著作権申請済みです。

関連イベント ★詳細および追加情報は当館 HP に更新します。⇒<http://hanga-museum.jp/>

■講演会「シュマイサーと日本」

講師:黒崎彰氏(版画家)

10月20日(土) 14:00~15:30 1階講堂にて 先着120名

■友の会20周年記念講演会「一台の木製印刷機をめぐる」

講師:中林忠良氏(版画家)

10月7日(日) 14:00~15:30 1階講堂にて 先着100名

■特別ギャラリートーク 各回14時から40分程度。

「シュマイサーが訪ねた地」

作品に描かれた地を知る方々に、展示作品を前にお話いただきます。

9月23日(日) 「南極」

橋田 元氏(国立極地研究所准教授)

9月29日(土) 「インド・ラダック」

山本高樹氏(写真家)

11月4日(日) 「オーストラリア・アーネムランド」 窪田幸子氏(神戸大学教授)

「シュマイサーの技法」 11月11日(日) 小野修平氏(版画家)

■学芸員によるギャラリートーク 10月14日(日)、10月27日(土)

各回14時より40分程度。観覧券をお持ちのうえ、展示室入口にお集まりください。

■工房見学「もっと近くで見たい!銅版画が生まれるところ」

11月3日(土)11時~12時30分、14時~16時 ※時間内随時見学可能 ※入場無料

版画工房内に入って制作の様子を間近にご覧いただけます。対象は中学生以上です。

■プロムナード・コンサート「偉大なる作曲家と巡る版画の世界」 高橋里奈(ピアノ)

11月17日(土) 13:00~、15:00~ 各回30分程度 エントランスホールにて

※お席の用意はございません。 ※参加無料

同時開催

~まちだゆかりの作家~ 赤瀬川原平・岡崎和郎・中里斉

9月5日(水)~12月24日(月・祝) 常設展示室 入場無料

問い合わせ

町田市立国際版画美術館(〒194-0013 町田市原町田4-28-1) 展覧会担当/ ^{わなじょうり}和南城愛理、広報担当/ ^{まちむらほるか}町村悠香
電話:042-726-0860 FAX:042-726-2840 メール:bunspo040_04@city.machida.tokyo.jp